

G7香川・高松情報通信大臣会合における取組み



- 1 G7香川・高松情報通信大臣会合
- 2 21年ぶりの大臣会合
- 3 G7 ICTマルチステークホルダー会議
- 4 最先端ICT展示
- 5 合同記者会見
- 6 高松丸亀商店街視察
- 7 重要無線通信妨害対策

G7香川・高松情報通信大臣会合

4月29日～30日

- あらゆる人やモノがグローバルにつながる「デジタル連結世界」の実現に向けた基本理念や行動指針をとりまとめた「憲章」及び「共同宣言」を採択するとともに「共同宣言」の附属書として「協調行動集」を策定した。
- 大臣会合には、国内外から約80名(海外約60名、国内約20名)が参加。
- 期間中、100名を超えるプレスが大臣会合及び関連イベントを取材。

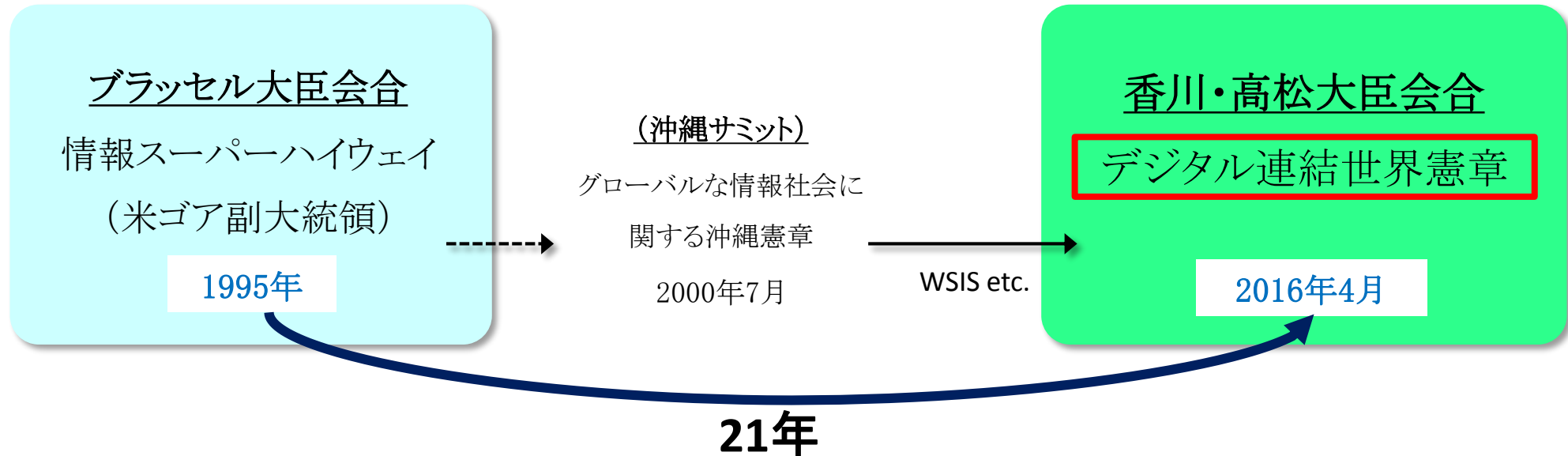


大臣会合の様子



栗林公園でのフォトセッション(4月29日)

21年ぶりの大臣会合



- ICT × 新イノベーション・経済成長
 - IoT推進の国際連携とAIに関する開発原則の国際的検討
- 情報の自由な流通とサイバー・セキュリティの強化
- ICT × 地球規模課題の解決
 - 課題としての重要分野例：健康医療・高齢化社会・女性活躍・防災
- デジタル・コネクティビティ(連結性)の強化
 - (参考) ASEAN地域における連結性強化、米国のGlobal Connectイニシアティブ

～ICTが地域活性化に寄与することについて共通理解が得られた。～

G7 ICTマルチステークホルダー会議

4月29日

- 産学のICT分野のリーダー達が集まり、ダボス会議方式で、下記のテーマについて集中的に議論した。
 - ＜テーマ＞
 - ① ICTによるイノベーションと経済成長
 - ② インターネットガバナンス及びサイバーセキュリティの共通認識の確立
 - ③ 地球規模課題の解決とデジタル連結性
- 松下総務副大臣の挨拶、G7各国等の代表による基調講演の後、各テーマについて議論が行われ、会議の結果は30日(土)の大臣会合にて報告された。
- 会合には300人が参加するとともに、インターネットでライブ配信が行われた。



松下総務副大臣の挨拶



セッションの様子

最先端ICT展示

4月28日～30日

- 「2020年に向けた社会全体のICT化」に関し、ICT関連12社・団体が出展。
- 地元の方々を含め、開催期間中(3日間)延べ3,500人が来場。



高市総務大臣はじめG7各国等の代表が視察(4月30日)



展示オープニング式典(4月28日)



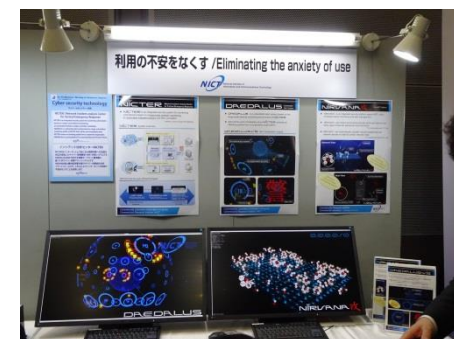
「言葉の壁をなくす」



「情報の壁をなくす」



「臨場感の向上 感動の共有」



「利用の不安をなくす」

合同記者会見

4月30日

会見概要(開催地への感謝等抜粋)

■高市総務大臣:



本会合は、香川・高松で開催されましたが、ICTが地域の活性化に寄与することについても、共通理解が得られました。

今回の会合の成果は5月26日・27日に伊勢志摩で開催される首脳会合にも反映して頂けるよう、しっかりと報告していきたいと考えています。

香川県、高松市の皆様には、会合の準備段階から全面的なご支援をいただき、心から感謝申し上げます。

■ベイジー文化・デジタル経済担当大臣(イギリス):



香川県高松市の皆様に感謝します。日本の美しい地域に来る機会を与えて下さいました。そして、「接続性」のアジェンダが日本においても、東京以外の地域において便益があるということを目の当たりにしました。

■アンシップ副委員長(欧州委員会(EU)):



会合の暖かいおもてなしに改めて感謝申し上げます。有意義な会合を次回、イタリアで開催されることを楽しみにしています。

■ジャコメッリ経済発展省政務次官(イタリア):



G7サミットの次の議長国はイタリアとなります。日本政府には相談役として、イタリアでの次期会合に向けた様々な準備に携わっていただきたいと思います。最後になりましたが、心からの感謝を香川県、高松市の関係者に申し上げます。本当にG7大臣会合を主催して下さったことに感謝します。作業環境はとても素晴らしいものでした。

■ノベリ国務省経済成長・エネルギー・環境担当次官(アメリカ):



香川県、高松市に対しても御礼申し上げます。この会合を開催することを可能にして下さり、また我々を暖かく迎えて下さったことを感謝します。このような美しい場所で会議が出来たことで、その分、会議も円滑に進められたと思います。



合同記者会見の様子(4月30日)

■マハニック経済・エネルギー省事務次官(ドイツ):



私も日本政府に対し、素晴らしいおもてなしに感謝するとともに、心からの感謝を香川県、高松市に対しても申し上げたい。大歓迎を受けました。明日までこのおもてなしを受けることが出来るということで、とても嬉しく思います。

■フォール経済・産業・デジタル省企業総局長(フランス):



香川県、高松市にも感謝申し上げます。忘れられない素晴らしいおもてなしをいただきました。地中海を思い起こす素晴らしい環境の中で会議が出来ました。

■ダジュネ イノベーション・科学・経済発展省次官補(カナダ):



日本が2016年に議長国としてリーダーシップを取られたこと、我々をこの高松という美しい場所に招聘して下さったことに感謝します。

高松丸亀商店街視察

4月30日

- 高松丸亀商店街は、商店街振興組合を中心に民間主導で再開発に取り組み、成功した事例。
- 同商店街では、「多言語音声翻訳システム」の実証実験や無料公衆無線LANの整備などを積極的に実施。
- 高市総務大臣が最新のICTが地方創生・地域経済の活性化に貢献する事例を視察。



高市総務大臣が高松丸亀商店街を視察した様子

重要無線通信妨害対策

- 重要無線通信妨害が発生したときに対処するため、サミット関連会合の開催期間中において、地方総合通信局と連携し、電波監視体制の強化を図ることとし、重要無線通信妨害総合対策本部を総務本省に設置。(平成28年3月23日～)
- 四国においても、G7情報通信大臣会合開催期間中、重要無線通信妨害対策実施本部を確立し、監視体制を強化。

